

# 平戸市 議会だより

## CONTENTS

vol.80  
令和5年(2023年)  
8月1日発行

### 6月定例会

- 2 … 6月定例会 ここに注目!
- 4 … 常任委員会レポート
- 6 … 審議された案件と結果
- 7 … 一般質問
- 11 … 可決された意見書・全国市議会議長会表彰
- 12 … 平戸のチカラ



九州百名山 志々伎山

とかいせん

No.80 2023.8.1 平戸市議会だより

編集・発行:平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3

TEL22-9170

FAX22-3427

E-mail: gikar@city.hirado.lg.jp



このコーナーでは、平戸市の宝をご紹介します。

## 志々伎山・志々伎神社



【志々伎神社(中宮)】

### どんなところ?

今回の平戸のチカラでは、市南部の志々伎山と、その中腹に社殿(中宮)を置く志々伎神社をご紹介します。

九州百名山の一つである志々伎山は、標高347m。山頂部が円錐状に突出した露岩となっており、その特徴的な姿が、遠く九州本土や五島列島からも望めるため、古くから近海における航海時に標識としての役割を果たしてきました。また、志々伎神社は、山頂の「上宮」・中腹の「中宮」・ふもと宮の浦の「地の宮」・宮の浦沖(沖ノ島)の「沖の宮」の4つから構成されており、正確な創建年代こそ不明であるものの、古く平安時代以前に創建されたと言われています。平安時代の法律「延喜式」で定められ、ときの朝廷が特に重要と認めた神社一覧「延喜式神名帳」に名を連ねていることから、「式内社」の名を冠する由緒ある神社の一つです。

この式内社は、肥前国(現在の長崎県・佐賀県)では4社しか無く、壱岐・対馬地域を除く県内では、志々伎神社が唯一のものです。

### 脈々と受け継がれてきたもの

Q 現在志々伎山の中腹にある社殿はいつ頃に建立されたものですか。

A 志々伎山中腹に社殿を置く中宮が、現在の祭祀の中心です。この中宮の社殿は、元々は現在地よりもさらに上の中腹にありましたが、昭和36年に、神仏分離令により廃された円満寺の跡地である現在地に移り、平成14年には社殿の建て替えが行われました。



お話を伺った人  
志々伎神社 宮司  
おとりい てる  
大鳥居 亨 さん

Q 志々伎神社で行われている神事には、どのようなものがありますか。

A お神輿のおくだし・神楽の奉納などが行われる春の大祭や、沖の宮で行われる(現在の相撲の原形といわれる)神相撲などがあります。また平戸全島で行われているジャンガラも、志々伎神社から広まったものと言われています。

Q 大鳥居さんにとっての志々伎山・志々伎神社とは、どのような存在ですか。

A 古くから信仰の対象となっており、歴史的にも大変貴重で大事な存在です。

これからも大切に奉仕し、地元の方とも協力しながら、守っていききたいと思います。



【取材の様子】

### 広報特別委員会

委員長	松口	茂生
副委員長	神田	全記
委員	井元	宏三
委員	針尾	直美
委員	吉住	龍三

平安時代から先人たちによって脈々と受け継がれてきた「志々伎神社」。取材した日の雨模様の境内は「しんと静まりかえり、それが返って歴史の重さを感じさせていた。人口減少が加速する中で、受け継いだものを、次の世代へと引き継いでいかなければならない。関係者の責任は容易ではないと改めて感じさせられた。

一方、議会では「総合計画(基本構想)」の変更という重要な議案が、議会最終日に追加提案された。地方自治の制度上、市の政策の最終的な意思決定は「議会の議決」をもって行われる。このため「議決権」は議会が持つ権限の中でも最も重要な権限である。そしてそれは議会や議員だけのものではなく、「住民の代表」として議員を議会へ送り出した住民が、議決権を通して市政運営に関する重要な権利であり、先人たちが築き上げてきた制度でもある。

神社(式内社)と地方自治制度。形こそ違っても次の世代へと誠実に引き継いでいく責任は重い。そのことを強く自覚や誇らなければならない。(吉住 龍三)

### 編集後記

